

福島地方環境事務所の最近の動き  
(今週の福島)

【最近の動きのポイント】

○ 除染・廃棄物対策関連

- ・双葉町、大熊町及び浪江町の特定復興再生拠点区域について、建物等解体撤去及び除染工事を実施中です
- ・富岡町の特定復興再生拠点区域について、除染工事に 7 月 6 日に着工しました（7 月 11 日報道公開予定です）
- ・2箇所<sup>1</sup>の仮置場において、今年度初めて原状回復が完了しました（浪江町西台仮置場、大熊町常磐道大熊西仮置場）

○ 中間貯蔵施設関連

- ・輸送開始(平成 27 年 3 月)からの累積輸送量が 7 月 4 日時点で 100 万 m<sup>3</sup>を超えました（平成 30 年度は 6 月末時点で約 22.8 万 m<sup>3</sup>の輸送を実施しました）
- ・平成 30 年 6 月末時点で約 950ha の用地取得の契約をいただきました

○ リスクコミュニケーション等関連

- ・自治体職員や相談員等の活動の支援、住民の放射線に関する理解醸成の支援、環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です

## I. 除染・廃棄物対策関連

### 1 特定復興再生拠点区域の解体・除染について

帰還困難区域内における特定復興再生拠点区域について、各町村の策定した計画に基づき、家屋解体・除染等を実施しています。

#### ○ 最近の動き

- ・双葉町、大熊町及び浪江町について、建物等解体撤去及び除染工事を実施中です。詳細は別添 1、3 のとおり
- ・富岡町の特定復興再生拠点区域について、除染工事に 7 月 6 日に着工しました（7 月 11 日報道公開予定です）。

### 2 避難指示解除済み地域等の除染・廃棄物処理関連事業について

帰還困難区域を除き、3 月に 8 県 100 市町村のすべてで面的除染が完了し、必要なフォローアップ等を実施しています。

各市町村において、必要な被災家屋等の解体等の廃棄物処理を実施しています。

仮置場で除去土壌・廃棄物等を保管しています。搬出が終わった仮置場については、順次、返地に向けた作業を実施しています。

#### ○ 最近の動き

早期の仮置場の解消を目指し、搬出の完了した仮置場の原状回復を進めているところです。今般、昨年度に搬出の完了した仮置場のうち、浪江町「西台」及び大熊町「常磐道大熊西」の 2 箇所の仮置場の原状回復が完了しました。当該 2 箇所は、今年度初の原状回復完了の事案です。

別添 4 のとおり

- 除染事業及び被災家屋等の解体等の実施状況（除染特別地域、汚染廃棄物対策地域）  
別添 1 のとおり
- 仮設焼却施設における処理状況  
別添 5 のとおり
- 特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況  
別添 6 のとおり

## II. 中間貯蔵施設関連

中間貯蔵施設の整備及び除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入を実施しています。

### (1) 最近の動き

- 輸送開始(平成 27 年 3 月)からの累計輸送量が 7 月 4 日時点で 100 万 m<sup>3</sup>を超えました。(平成 30 年度は 6 月末時点で約 22.8 万 m<sup>3</sup>の輸送を実施しました。別添 7 のとおり)

- 平成 30 年 6 月末時点で約 950ha の用地取得の契約をいただきました。  
別添 8 のとおり

(2) 平成 30 年度の進捗状況

- 除去土壌等の輸送

(7月3日までの搬入実績)

搬出市町村		搬出可能量 (m <sup>3</sup> )	学校等(現場保管) からの輸送予定量 (m <sup>3</sup> )	搬入量(m <sup>3</sup> )※
浜通り	いわき市	22,200	7,800	4,121
	相馬市	16,100	-	
	南相馬市	113,200	-	2,510
	広野町	31,900	-	
	檜葉町	72,400	-	27,269
	富岡町	162,400	-	20,178
	川内村	42,400	-	11,386
	大熊町	147,000	-	19,786
	双葉町	132,700	-	6,918
	浪江町	130,300	-	7,982
	葛尾村	71,400	-	2,687
	飯館村	151,600	-	6,961
中通り	福島市	78,700	20,000	5,782
	郡山市	67,200	20,900	35,617
	白河市	33,800	100	9,165
	須賀川市	22,000	3,600	8,913
	二本松市	50,000	-	7,870
	田村市	47,800	300	5,222
	伊達市	62,600	6,000	5,982
	本宮市	20,600	-	5,847
	桑折町	19,200	-	
	国見町	16,300	-	5,206
	川俣町	71,600	-	14,737
	大玉村	13,700	-	4,742
	鏡石町	0	300	
	天栄村	16,100	-	
	西郷村	54,900	-	6,352
	泉崎村	15,200	-	5,324
	中島村	6,400	-	5,827
	矢吹町	13,900	-	2,426
三春町	24,400	-		
合計	1,728,000	59,000	238,810	

※ フレキシブルコンテナ等 1 袋の体積を 1 m<sup>3</sup>と換算しています。

※ 平成 30 年度の 1 年間の輸送量は、180 万 m<sup>3</sup>程度です。

- 中間貯蔵施設区域内の用地取得について  
平成 30 年 6 月末時点の用地の状況は、別添 8 のとおり  
※別添 8 に関するお問合せは、環境省環境再生施設整備担当参事官室 西村、信原  
電話 03-5521-8349 まで
- 中間貯蔵施設及び周辺の空間線量率等  
こちらから御確認ください(中間貯蔵施設及び周辺モニタリング(JESCO サイト))  
<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html#hokanba>
- 中間貯蔵施設に係る工事等について  
工事等の一覧は別添 2 のとおり

### Ⅲ. 放射線健康リスクコミュニケーション等関連

①自治体職員や相談員等の活動の支援、②住民の放射線に関する理解醸成の支援、③環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です。

#### (1) 最近の動き

- ・環境再生プラザにおいて専門家派遣・モニタリング支援（説明・測定・資料作成支援）・移動展示等を実施中です。
- ・富岡町（6/27～30）において、ホールボディ・カウンタによる内部被ばく線量測定を実施しました。
- ・いわき市立江名中学校（7/12）において放射線授業の支援を行います。
- ・ガンマカメラ活用リスクコミュニケーション支援事業を実施中です。

#### (2) これまでの実施状況

(7月6日時点)

項 目		実施回数	
		H29 年度 (H28 年度)	今年度
①自治体職員や相談員等の活動の支援	(ア) 職員向け研修会	77 回 (52 回)	19 回
	(イ) 専門家派遣	47 回 (41 回)	5 回
②住民の放射線に関する理解醸成の支援	(ア) 住民セミナー	72 回 (27 回)	12 回
	(イ) 車座意見交換会	62 回 (24 回)	9 回
	(ウ) 個人線量測定の支援(WBC)	83 日 (8 日)	18 日
	(エ) リスクコミュニケーション拠点（長崎大、弘前大）による活動		
	(オ) ガンマカメラ活用リスクコミュニケーション支援事業	184 台・日 (186 台・日)	42 台・日
③環境再生等に関する情報発信（環境再生プラザ）	(ア) 専門家派遣	142 件(208 件)	37 件
	(イ) 移動展示	42 件 [55 日] (78 件[92 日])	12 件 [19 日]

(ウ) テレビ

- ・「なすびのギモン Part5」(全8回)を放送しました。  
※Part1からPart4も含め、以下のホームページから視聴できます。  
<http://josen.env.go.jp/nasubinogimon/movie/>
- ・特別番組「いのち、つなぐ 檜葉町・木戸川の今」を放送しました。

(エ) ラジオ

- ・「福島再生へのみち」(全26回(FM局13回、AM局13回))を放送しました。  
※以下のホームページから視聴できます。  
FM局 [http://josen.env.go.jp/plaza/radio\\_streaming/](http://josen.env.go.jp/plaza/radio_streaming/)  
AM局 [http://www.rfc.jp/podcast/podcast\\_program.php?program\\_id=29](http://www.rfc.jp/podcast/podcast_program.php?program_id=29)

(オ) まんが

- ・まんが「なすびのギモン」のシリーズ第4作「環境再生のあゆみ」編を作成しました。  
※これまでの3作(「身の回りの放射性物質」編、「健康影響」編、「食品」編)も含め、以下のホームページから読むことができます。  
<http://josen.env.go.jp/nasubinogimon/index.html#indexManga>

(カ) イベント

- ・「くるまざカフェ」および「ふくしま“みち”さがし」を実施しました。  
※除染や福島環境再生に取り組む様々な方々と情報交換を行い、経験を共有する体験型のイベント(くるまざカフェ)と本イベントの参加者・関係者も交えたシンポジウム(ふくしま“みち”さがし)です。  
<http://josen.env.go.jp/plaza/about/communication/kurumaza/>

(キ) 環境再生プラザの企画展示

- 「ふくしま“みち”さがし」をテーマに実施中です。  
[http://josen.env.go.jp/plaza/about/exhibition\\_180327.html](http://josen.env.go.jp/plaza/about/exhibition_180327.html)

除染事業及び被災家屋等の解体等の実施状況  
(除染特別地域、汚染廃棄物対策地域)

市町村	工事状況等
南相馬市	<p>○平成 29 年度南相馬市環境復旧等工事 (H30/3/5~)</p> <p>※除染等工事の作業員数 560 人</p> <p>○平成 29 年度南相馬市建物解体等撤去工事 (H29/6/14~)</p> <p>※被災家屋等の解体撤去工事实施中 (2,639 件解体済/2,845 件受付済)</p>
浪江町	<p>○平成 29 年度 (平成 28 年度繰越) 浪江町フォローアップ除染等工事 (H29/10/27~)</p> <p>※除染等工事の作業員数 140 人</p> <p>○平成 29 年度浪江町建物解体等撤去工事 (H30/3/22~)</p> <p>○平成 30 年度浪江町被災建物等解体撤去工事 (H30/6/18~)</p> <p>※被災家屋等の解体撤去工事实施中 (1,954 件解体済/3,786 件受付済)</p>
双葉町	<p><u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H29/12/25~)</u></p> <p><u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H30/2/13~)</u></p> <p>※除染等工事の作業員数 130 人</p> <p>○平成 29 年度双葉町建物解体等撤去工事 (その 2) (H30/4/16~)</p> <p>※被災家屋等の解体撤去申請を受付中 (335 件受付済。うち拠点区域 309 件) であり、解体撤去工事实施中 (27 件解体済。うち拠点区域 6 件)</p>
大熊町	<p>○平成 29 年度大熊町仮置場復旧等工事 (H29/11/22~)</p> <p><u>○平成 29 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/3/9~)</u></p> <p>※除染等工事の作業員数 330 人</p> <p>※被災家屋等の解体撤去申請を受付中 (581 件受付済。うち拠点区域 492 件) であり、解体撤去工事实施中 (162 件解体済。うち拠点区域 85 件)</p>

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

市町村	工事状況等
富岡町	<p>○平成 29 年度(平成 28 年度繰越)富岡町除染等工事(夜の森地区他) (H29/6/20~)</p> <p>○平成 29 年度(平成 28 年度繰越)富岡町フォローアップ除染等工事 (H29/10/6~)</p> <p>※除染等工事の作業員数 380 人</p> <p>○平成 29 年度富岡町建物解体等撤去工事(その 2)(H30/3/7~)</p> <p>※被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中 (3,028 件受付済。うち拠点区域 201 件)であり、解体撤去工事实 施中(2,266 件解体済。うち拠点区域 125 件)</p>
檜葉町	<p>○平成 29 年度檜葉町仮置場復旧等工事(H29/5/27~)</p> <p>※除染等工事の作業員数 100 人</p> <p>※被災家屋等の解体撤去工事实施中(1,428 件解体済/1,577 件受付 済)</p>
飯舘村	<p>○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)飯舘村仮置場復旧等工事(H30/4/10 ~)</p> <p>○平成 30 年度飯舘村建物解体等撤去工事(H30/6/5~)</p> <p>※除染等工事の作業員数 200 人</p> <p>※被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中 (1,411 件受付済。うち拠点区域 4 件)であり、被災家屋等の解体撤 去工事实施中(996 件解体済。うち拠点区域 0 件)</p>
川俣町	<p>○平成 29 年度川俣町可燃物処理等整備工事(H29/8/9~)</p> <p>※除染等工事の作業員数 80 人</p> <p>※被災家屋等の解体撤去工事实施中(382 解体済/392 件受付済)</p>
葛尾村	<p>○平成 29 年度葛尾村建物解体等撤去工事(H29/11/30~)</p> <p>※被災家屋等の解体撤去工事实施中(364 解体済/423 件受付済)</p>

※除染等工事の作業員数 合計 1,900 人

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

## 中間貯蔵施設に係る工事等の一覧

	工事名
土壌貯蔵 施設等	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事(双葉町) (H28/ 6/14～) ※H28. 11 月に着工、H29. 12 月貯蔵開始
	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事(大熊町) (H28/ 6/14～) ※H28. 11 月に着工、H29. 10 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵(双葉 1 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H29/ 5/11～) ※H29. 10 月に着工、今年度夏以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵(双葉 2 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H29/ 5/18～) ※H30. 1 月に着工、今年度冬以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵(大熊 1 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H29/ 5/11～) ※H29. 11 月に着工、今年度夏以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵(大熊 2 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H29/ 5/11～) ※H29. 9 月に着工、今年度夏以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵(大熊 3 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H29/ 5/18～) ※H29. 11 月に着工、今年度夏以降に貯蔵開始見込み
	○平成 30 年度中間貯蔵(双葉 3 工区)土壌貯蔵施設工事 (H30/ 4/6～) ※今年度中に着工予定
	○平成 30 年度中間貯蔵(大熊 4 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H30/ 4/5～) ※今年度中に着工予定
	○平成 30 年度中間貯蔵(大熊 5 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H30/ 4/10～) ※今年度中に着工予定

	工事名
廃棄物 関連施設	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物 処理その 1 業務（H30/3/1～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物 処理その 2 業務（H30/3/1～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/ 3/9～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/ 3/8～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
その他 施設等	○平成 29 年度中間貯蔵に係る焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双 葉町）（H29/12/23～）
	○平成 29 年度保管場等整備工事（大熊町・双葉町）（H30/1/19～）

# 特定復興再生拠点区域整備の状況(2018年7月6日時点)

別添 3

- 福島復興再生特別措置法の改正(H29.5)により、将来にわたって居住を制限するとされてきた帰還困難区域内に、避難指示を解除し、居住を可能とする「特定復興再生拠点区域」を定めることが可能となった。
- 市町村長は、特定復興再生拠点区域の設定及び同区域における環境整備（除染やインフラ等の整備）に関する計画を作成。同計画を内閣総理大臣が認定し、復興再生に向けて計画を推進（計画認定から5年を目途に避難指示解除を目指す）。
- これまでに、以下6町村の計画が認定され、双葉町、大熊町、浪江町、富岡町で解体・除染工事に着工。

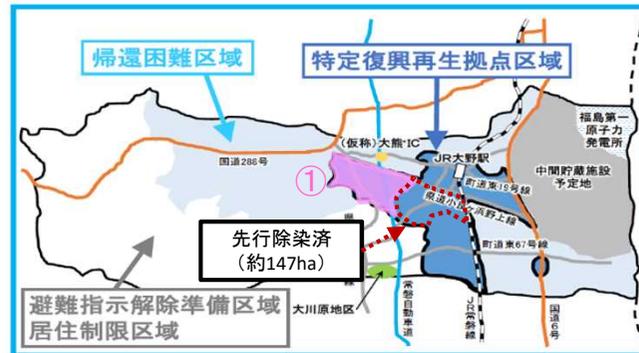
双葉町(2017.9.15認定、約560ha)



【工事状況】

- ①復興シンボル軸解体・除染工事  
(解体55件、除染約7ha) : 12月25日着工
- ②駅東等解体・除染工事  
(解体640件、除染約90ha) : 2月13日着工

大熊町(2017.11.10認定、約860ha)



【工事状況】

- ①下野上地区の西エリアを中心とした解体・除染工事  
(解体460件、除染約160ha) : 3月9日着工

浪江町(2017.12.22認定、約660ha)



【工事状況】

- ①一部道路の除染工事(除染約4ha) : 5月30日着工

富岡町(2018.3.9認定、約390ha)



【工事状況】

- ①夜ノ森駅周辺の除染工事  
(除染約0.3ha) : 7月6日着工

飯舘村(2018.4.20認定、約186ha)



【工事状況】解体・除染工事について調整中

葛尾村(2018.5.11認定、約95ha)



【工事状況】解体・除染工事について調整中

# 浪江町 <sup>にしだい</sup>西台仮置場 の原状回復完了について

別添4

- 名称：<sup>にしだい</sup>西台仮置場（所在地：浪江町）
- 保管開始：平成27年6月、搬出完了：平成29年7月
- 最大除去土壌等数量：約8,600袋
- 面積：約2.3ha
- 仮置場の全体について、平成30年6月末までに原状回復作業を完了し、農地として返地。

原状回復前



原状回復作業(<sup>けいはん</sup>畦畔の復旧)



原状回復後



# じょうばんどうおおくまにし 大熊町 常磐道大熊西仮置場 の原状回復完了について

じょうばんどうおおくまにし

- 名称：常磐道大熊西仮置場（所在地：大熊町）
- 保管開始：平成26年11月、搬出完了：平成29年5月
- 最大除去土壌等数量：約59,000袋
- 面積：約5.8ha
- 平成30年6月末までに原状回復作業を完了し、全て返地。
  - ・平成29年5月 植物工場建設予定地のため、約4.5haを返地。
  - ・平成30年3月 大熊町の事業として利用のため、約0.6haを返地。
  - ・平成30年6月 大熊町の事業及び農地として利用のため、約0.7haを返地。

原状回復前



原状回復作業(客土敷均し)  
しきなら



原状回復後



## 仮設焼却施設における処理状況

平成 30 年 7 月 6 日

立地地区	進捗状況	処理能力	処理済量 (除染廃棄物/災害廃棄物) (平成 30 年 5 月末時点)	排ガス中の 放射性物質 濃度	
				1号炉	2号炉
川内村	処理完了	7 t/日	約 2,000 トン (0 トン/約 2,000 トン)	—	—
飯舘村 (小宮地区)	処理完了	5 t/日	約 2,900 トン (0 トン/約 2,900 トン)	—	—
富岡町	稼働中(平成 27 年 4 月より)	500 t/日	約 149,000 トン (約 95,000 トン/約 54,000 トン)	1号炉 —	2号炉 N. D.
南相馬市	稼働中(平成 27 年 4 月より)	400 t/日	約 175,000 トン (約 87,000 トン/約 88,000 トン)	1号炉 N. D.	2号炉 N. D.
葛尾村	稼働中(平成 27 年 4 月より)	200 t/日	約 104,000 トン (約 73,000 トン/約 31,000 トン)	N. D.	
浪江町	稼働中(平成 27 年 5 月より)	300 t/日	約 167,000 トン (約 71,000 トン/約 96,000 トン)	N. D.	
飯舘村 (蕨平地区)	稼働中(平成 28 年 1 月より)	240 t/日	約 103,000 トン (約 69,000 トン/約 34,000 トン)	1号炉 N. D.	2号炉 N. D.
檜葉町	稼働中(平成 28 年 11 月より)	200 t/日	約 64,000 トン (約 35,000 トン/約 29,000 トン)	N. D.	
大熊町	稼働中(平成 29 年 12 月より)	200 t/日	約 19,000 トン (約 11,000 トン/約 8,000 トン)	N. D.	
双葉町	建設工事準備 中	300 t/日	—	1号炉 —	2号炉 —

※排ガス中の放射性物質濃度は直近の結果を記載。N. D. とは検出下限値未満（廃棄物関係ガイドラインに定める検出下限値（2Bq/m<sup>3</sup>）以下）であることを示している。

## 特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

平成 30 年 7 月 6 日

## 【最新の進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
6/27～7/3	1,074	27,183

※搬入は平日のみ実施しています。

※搬入量（袋数）は天候や調整状況により変動します。

## 【これまでの進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
平成 29 年 11 月	707	707
平成 29 年 12 月	2,746	3,453
平成 30 年 1 月	1,866	5,319
平成 30 年 2 月	2,523	7,842
平成 30 年 3 月	4,060	11,902
平成 30 年 4 月	4,965	16,867
平成 30 年 5 月	4,287	21,154
平成 30 年 6 月	5,615	26,769
平成 30 年 7 月（3日まで）	414	27,183

搬入状況や環境モニタリング結果など、特定廃棄物埋立処分事業の進捗状況については、ホームページにて公表しています。

[http://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki\\_umetate\\_fukushima/progress/](http://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/progress/)

# 輸送の実施状況（平成30年6月30日時点）

別添7

搬出市町村		搬出可能量	学校等(現場保管)からの輸送予定量	6月中輸送実績	4～6月輸送実績	搬出市町村		搬出可能量	学校等(現場保管)からの輸送予定量	6月分輸送実績	4～6月輸送実績
浜通り	いわき市	22,200	7,800	1,181	3,965	中通り	二本松市	50,000	-	3,833	7,491
	相馬市	16,100	-	-	-		田村市	47,800	300	3,345	5,006
	南相馬市	113,200	-	2,222	2,222		伊達市	62,600	6,000	3,801	5,588
	広野町	31,900	-	-	-		本宮市	20,600	-	2,340	5,675
	楡葉町	72,400	-	8,753	26,420		桑折町	19,200	-	-	-
	富岡町	162,400	-	8,788	19,570		国見町	16,300	-	1,915	5,053
	川内村	42,400	-	8,030	10,474		川俣町	71,600	-	6,212	14,244
	大熊町	147,000	-	8,007	18,739		大玉村	13,700	-	2,179	4,560
	双葉町	132,700	-	2,652	6,750		鏡石町	0	300	-	-
	浪江町	130,300	-	2,093	7,694		天栄村	16,100	-	-	-
	葛尾村	71,400	-	2,133	2,133		西郷村	54,900	-	3,089	5,657
	飯舘村	151,600	-	2,854	6,547		泉崎村	15,200	-	855	5,324
中通り	福島市	78,700	20,000	2,882	5,500	中島村	6,400	-	762	5,827	
	郡山市	67,200	20,900	14,583	34,513	矢吹町	13,900	-	1,943	2,071	
	白河市	33,800	100	3,824	8,817	三春町	24,400	-	-	-	
	須賀川市	22,000	3,600	2,774	8,547						

合計	1,728,000	59,000	101,050	228,387
----	-----------	--------	---------	---------

# 中間貯蔵施設用地の状況について

平成30年6月末時点

別添8

全体面積 約1,600ha	項目	全体面積内訳	全体面積に対する割合	登記記録人数 (2,360人)内訳
民有地 約1,270ha (約79%)	地権者連絡先 把握済み	約1,220ha	約76% <small>民有地と公有地の合計では 全体の約97%となっている。</small>	約1,890人
	調査確認 承諾済み	約1,170ha	約73%	約1,660人
	物件調査済み	約1,160ha	約73%	約1,650人
	契約済み	約950ha	約59.4% (約74.8%)※1	1,512人 (約64.1%)※2 (約80.0%)※3
公有地等 約330ha (約21%)	町有地	約165ha	約10.3%	※1 民有地面積の 1,270haに対する割合。 ※2 登記記録人数の 2,360人に対する割合。 ※3 連絡先把握済みの 1,890人に対する割合。
	国有地/県有地/ 無地番地の土地	約165ha	約10.3%	

【地権者】

土地所有者・建物所有者

登記記録 2,360人 ※1

※1 建物以外の物件のみの所有者等の存在、相続の発生等もあるため、今後、地権者数は増減あり。

連絡先を把握している地権者 現在の把握数 約1,900人

●連絡先を把握している地権者の所有地の面積の合計は、約1,550ha(うち、公有地(国、県、町等の所有地)等の面積は、約330ha)となっている。全体面積(約1,600ha)に対して、約97%となっている。

連絡先を把握できていない地権者 約460人

戸籍、住民票情報等により、連絡先確認

個別訪問している方等 約1,860人

建物等の物件調査についての協力要請

建物等の物件調査の承諾を得ている件数 約1,660件

現地調査の実施

調査不要の案件

●補償額を提示～説明を継続

●物件調査結果に基づく補償金額算定～補償額を提示～説明を継続

○件数 1,512件 ※2

契約実績

○面積 約950ha

- ・死亡されている方:約420人 → 詳細を確認
- ・登記記録の所有者の記載が氏名のみ 約20人 → 対応策検討
- ・登記名義人が戸籍に該当なし 約20人 → 対応策検討

(注) 数値については概数であるため、合計と一致しない場合がある。

※2 土地売買:1,401件、地上権設定:111件。